

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第1号
平成29年4月17日
校長 奥田 修也

生まれたところが必ずしも ふるさどではない
心をとどめたところが ふるさどである

校長 奥田 修也

どんなに豪華な家に住んでも、どんなに立派な校舎で学んでも、人間が最後に行き着くところは、真に心を育んでくれたところなのだと思います。かわいい本校の子どもたちには、家庭、学校そして今住んでいるところも「ふるさと」としてその心に宿し大人になってほしいと願っています。

急速なグローバル化のなかで、本校の子どもたちの多くは住み慣れた街や日本を離れて北京で生きています。また、ここで生まれ、あるいは育ったこの北京をいつの日か旅立ち、日本や他の国で暮らすようになる子どもも多くいるでしょう。

そんなときに、ふと親やきょうだいのこと、先生のこと、友だちのこと、ふるさとの山河のことなどを懐かしみ郷愁あるいは望郷の念にとらわれることがあると思います。それはきっと、ほろ苦い喜びや幸せ感なのかもしれません。

朝焼け色の空に またたく星ひとつ
小さな光が照らす 大いなる勇氣
何気ない日々の中に 明日の種を探せば
始まりの鐘が響く いま 君のために

雨降る日があるから虹が出る 苦しみぬくから強くなる
進む道も夢の地図も すべては心の中にある
助け合える友との思い出を いつまでも大切にしたい
進む道も夢の地図も それはふるさと



さて、一昨年度、私が北京に来て初めての学習発表会で、6年生の発表の中に、「ふるさと」の合唱がありました。個人や集団としてのあの子たちの素直な良さからくる歌のうまさ自体も大したものでしたが、なぜか歌詞を身をもって理解しているのではないかと思われる情感の深さが今でも私の耳には残っています。ここ北京という場所で愛情深く慈しんでこの子たちを育てておられるご家庭の皆様の姿のひとつひとつが、子どもたちの心に深く「ふるさと」を刻み込むことになると思われた出来事のひとつです。

未来からの留学生、社会の宝物である子どもたちに、良き「ふるさと」を提供するのは私たち大人の重要な役割のひとつです。保護者、北京日本人社会の皆様と共に手を携えて子どもたちが将来北京をそして北京日本人学校を「第二のふるさと」と思えるよう今年度も職員一同力を合わせ、全体がひとつの家族のような心のつながりをもって邁進します。

巡りあいたい人がそこにいる やさしさ広げて待っている
山も風も海の色も いちばん素直になれる場所
忘れられない歌がそこにある 手と手をつないで口ずさむ
山も風も海の色も 君のふるさと
僕のふるさと
ここはふるさと



理事長を退任するにあたって

前学校運営理事会理事長 西澤 学

みなさま、こんにちは。2016年度運営理事会理事長を務めさせていただきました西澤学です。この度、3月末をもちまして理事長を退任致しました。この1年間、保護者の皆様、学校関係者の皆様、そして運営理事会理事の皆様より多大なるご支援を頂きましたこと、この場をお借りして改めて心よりお礼申し上げます。

私の職場の前任者帰任に伴い、運営理事会に参画させて頂くようになったのが2016年1月、その後間もなく4月には理事長という大任を仰せつかることになり、運営理事会についての知識・経験も不十分な私が就任することには大きな不安がございました。これまでも子どもたちの行事に参加させて頂いておりましたので、学校についてもよく理解しているつもりでしたが、理事会に参画させて頂くことによって、学校運営の裏側には多くの関係者の方々の並々ならぬご支援があったことを改めて認識致しました。

私の子どもたちも北京日本人学校で何年もお世話になっておりましたので、このチャンスを活かして是非とも学校に恩返しをすべく、微力ながらも私ができる限りのこと全てをお役に立てたいという思いで1年間走り続けて参りました。然しながらまるで初めてのコースを走るマラソンランナーのように、周りに着いていくことが精一杯でペース配分・戦略など熟慮することができなかつたように思います。関係の皆様にはいろいろとご迷惑ばかりお掛けしたことをお詫び申し上げます。

担当年度の重要課題と致しましては、前年度に引続いて学校老朽設備の営繕を着実に実行していくことを中心に審議して参りました。2017年度も、森理事長をはじめとする理事の皆様、学校関係者の皆様の変わらぬご尽力により、北京日本人学校が順調に運営されることと確信しております。私と致しましては、この1年間の理事長職の経験を活かしながら引続き理事の立場として、「北京日本人学校」が児童・生徒の皆さん、ご家族の皆さんにとってこれからも理想的な「学び舎」であり続けることができるよう、学校運営に積極的に協力させて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、今後とも学校運営に関係する全ての皆様方の変わらぬご支援とご理解をお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

【教職員組織】

校長 奥田 修也 事務局長 駒津 雅司	教頭 山中 正明 教務主任 中西 大
小学部 1年1組 玉井 咲帆 2組 池上 久子 3組 石川 雄三 2年1組 高橋 寛之 2組 丹野 真夢 3組 前田 里恵 3年1組 濱田 聖矢 2組 高原 清史 4年1組 坂本 貴之 2組 吉野 美穂 5年1組 鈴木 康弘 2組 多田久美子 6年1組 三浦 広輝 2組 松本 由貴 通級教室 山縣 悠華 低副担任 森 由貴 中副担任 矢嶋 優樹 高副担任 猪狩 志乃	中学部 1年1組 中脇 尚子 2組 慶徳 和彰 2年1組 石山 友範 2組 星 翔子 3年1組 酒主 毅紀 2組 釜崎 孝一 副担任 佐伯 知子 副担任 鈴木 隆太 副担任 田村 美佳 講師 中国語 隋 卫民 郑 欣 陳 臣 陈 臣 张 宇 英会話 Alexander Fosgrau Edwin Mark Nuwagira Johanna M. Rey
養護 照井 彩佳 図書室 谷川美由紀	



新赴任教員紹介



山中 正明 (やまなか まさあき)

高橋 勝教頭先生の後任として赴任しました。12年前に教諭として香港に3年間いましたが、小学生のいる学校での勤務は教員生活で初めてです。そのことが一番不安であり、また楽しみでもあります。この新しい出会いを大切にして、一人でも多くの国際性豊かなグローバル人材を育てられるように、校長先生と力を合わせて学校づくりをしてまいります。よろしくお願いいたします。

高橋 寛之 (たかはし ひろゆき)

皆さんこんにちは。この度新たに北京でお世話になることになりました高橋寛之と申します。北京と同じ緯度の秋田から参りました。外から見るからこそ見える日本、二カ国知るからこそ見える世界、ここでしか気づけないことを子どもたちと一緒に気づいていきたいと思っています。ここでの生活が一人一人の人生に大きくプラスになるように精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

石川 雄三 (いしかわ ゆうぞう)

横浜ベイスターズが大好きです。万年最下位…負けることが多く悔しい思いをしてきた分、昨年の躍進には心が震えました。何十年の悔しさの分だけ確かな喜びがありました。子どもたちにも成功体験はもちろん、集団生活の中でしか出来ない大なる失敗、悔しさという一見マイナスな感情をも経験させていく中で、真の喜びを味わいたい…そしてその感動を共有し共に成長していきたいです。

鈴木 康弘 (すずき やすひろ)

私は、愛知県の渥美半島から参りました。バドミントンやランニング、野球など、上手ではありませんが、体を動かすことが大好きです。私のモットーは、「迷ったらGO!」と「継続は力」。チャレンジすることで、新たな世界が見えてくる。継続することでこそ、効果があらわれる。そんなことを自分自身に言い聞かせて日々の教育活動を行い、子どもたちの力になれたらうれしいです。

慶徳 和彰 (けいとく かずあき)

初めまして。今年度からみなさんと一緒に学校生活を送ることになりました。国語を担当しています。日本での勤務地は京都府ですが、出身は広島県です。この学校に赴任が決まってから今日まで、ここでの生活がどんなものになるのか想像を膨らませながら楽しみにしていました。授業を通して、日本語や文字の楽しさ・美しさを一緒に学んでいきましょう！どうぞ、よろしくお願いいたします！！

吉野 美穂 (よしの みほ)

はじめまして。皆さんにお会いできる日を心待ちにしていました。私は埼玉県出身です。体を動かすこと、音楽を聴いたり奏でたりすることが大好きです。共に学び、共に遊び、皆さんと北京で過ごす一日一日が楽しく、かけがえのない日々となるよう精一杯頑張ります。北京日本人学校のいいところ、自慢できるところ、たくさん私たちに教えてください。どうぞよろしくお願いいたします。

矢嶋 優樹 (やじま ゆうき)

日本では桜が咲き私の心も喜びと期待に満ち溢れています。北京日本人学校の子どもたちのためにこれまでの経験を生かしながら共に成長していきたいと思えます。授業では、皆さんに学びの楽しさや面白さを味わわせ、運動会などの学校行事では共に汗をかき、子供たちと目標に向かって前に進めるよう全力を尽くします。これからよろしくお願いいたします。

田村 美佳 (たむら みか)

みなさん、はじめまして。埼玉県出身です。都道府県で年間快晴日数が毎年1位の埼玉県。みなさん晴れの日が好きですか？晴れた青い空が好きな私、実は雨女です。出かけようと外に出ると雨が降ってくることも多いですが、気持ちはいつも快晴です！みなさんと一緒に明るく元気に活動することを楽しみにしています。趣味は散歩と音楽、好きな食べ物はトマトです。たくさんお話ししましょう！どうぞよろしくお願い致します。

森 由貴 (もり ゆき)

はじめまして。福岡県から来ました。私にとって、最初の海外が北京であり、10年ぶりに戻ってくることができ、とてもご縁を感じています。北京日本人学校での出会いを大切に、私も子どもたちと共に学び続けていきたいです。また、小学生の頃から剣道をしているので、北京でも皆さんと一緒に剣道ができる日が来たらいいなと思います。これから北京日本人学校の一員として精一杯努めますので、よろしくお願い致します。

山縣 悠華 (やまがた ゆうか)

はじめまして。京都から参りました。京都は観光客が多く、街を歩くと様々な国の言葉が聞こえてきます。2月には京都マラソンに参加し、街並みを楽しみながら42.195kmを走ってきました。北京での生活でも、みなさんと共に元気いっぱい、笑顔のあふれる毎日を過ごしていきます。一人ひとりの個性を伸ばすことができる指導・支援に全力を尽くします。どうぞよろしくお願い致します。

